

【児童発達支援】支援プログラム

事業所名	DRK青山スタジオ	作成日	2025/2/7
営業時間	9:30-18:30	送迎実施の有無	無
法人(事業所)理念	子ども達が日常生活における基本動作を習得し、集団生活に適応することができるよう、子ども達の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を行います。更に地域との結びつきを重視しながら利用者の所在する区市町村や他の事業所とも密接な連携に努めます。児童福祉法及び港区指定障害児通所支援の事業所等の人員、設備及び運営に関する基準などを定める条例に定める内容のほかその他関係法令等を遵守し、事業を実施するものとします。		
支援方針	発達の気になるお子様が生き生きと活動できる場を提供し、自己肯定感を高め「生きる力」を身に付けられる場となることを目指します。お子様を育てる保護者同士が、正しい知識や情報を得て、安心して子育てができる場となるよう、又社会全体でお子様や子育てする保護者様を支え、共に子どもたちを育むことが当たり前の社会の実現に向けて我々DRK青山スタジオは港区から発信していきます。		

支援内容	
健康・生活	<p>スケジュール管理...見通しを立てて行動し、スケジュールに沿って切り替えをする意識を伸ばします。</p> <p>トイレ、必要な児童に限り、決められた時間にトイレに促すように行います。</p> <p>衣類の着脱...天気や気温・適状況等に合った衣類や服装を意識させたり、ファスナーやボタン留めが自ら出来るように促します。</p> <p>公共交通機関の利用...担当の療育士と共に交通機関について意識し、必要な場合は利用の仕方を促します。</p> <p>自転車の練習...必要な児童に限り、日曜日のフィールド療育に限り、自転車の練習を実施しております。</p> <p>身支度...療育の始まる前、終わる前に必要なものやそうでないものが区別できる。準備を療育士が補助しながら、自力で出来るよう目指します。</p> <p>買い物...必要な児童に限り、私生活に必要な買い物等を出来るように行います。</p> <p>片付け...次の課題を行う前と終わりのあいさつ後に使ったものを元の位置に戻すよう促して片付けの意識をつけていきます。</p> <p>整理整頓...決められた場所に片付けたり、身の回りの物を整理する意識を注意を促して行います。</p> <p>水分摂取...課題の間の水分補給を促して運動後の水分摂取に意識を向けさせていきます。</p>
運動・感覚	<p>有酸素運動...心拍数を高めて次の行動を落ち着いて行動できるように促します。</p> <p>微細運動...手先の使い方や巧緻性を高めます(絵を書く、着を使う、洗濯バサミをつける等)</p> <p>体幹強化...段差や平均台、バランスボールを利用して体幹強化を行います。</p> <p>ボディイメージ...様々な動きやポーズを課題の中に入れていき、意識できるように促して行きます。</p> <p>体力向上...様々な運動を利用者の発達の段階に合わせて体力向上を図ります。</p> <p>協調運動...同時に多くのタスクを促し、情報処理しながら複雑な課題にチャレンジしていきます。</p> <p>粗大運動...ダンスやジャンプ等の体を大きく使う課題を促します。</p> <p>視覚運動...ダンスやトレーニングを用いて他者の動きや必要な動きやポーズを意識させて運動していきます。</p> <p>視覚運動(ビジュントレーニング)...ボールをキャッチまたは動くものを追視する課題から促します。</p> <p>ごっこ遊び...ルールが一貫した運動で楽しく課題を行って共感しながら運動します。</p> <p>ストレッチ...運動マツを引き、療育士と無理のない範囲で身体を伸ばして行きます。</p> <p>ボールを使った運動(コントロール)...空間に対してイメージをもって距離感や力のコントロールが理解できるように促します。</p> <p>学校体育...就学に向けて学校に必要な課題をスモールステップで段階を踏みながら成功できるように促して行きます。</p>
認知・行動	<p>こだわりの軽減...様々な課題を促していくことで興味のある事を増やし、お子様のキャパシティを上げていきます。</p> <p>ルール理解...簡単なルールから徐々に複雑なルールも理解し、集団遊びが出来るように促して行きます。</p> <p>ワーキングメモリー...同時にいくつかのことを記憶したり、振り回りの時間を作ることで覚えたことをアウトプットする機会を多く作っていきます。</p> <p>興味の幅を広げる...療育士が本児の興味に添いながら促していくことで、興味や関心の幅を広げられるように促して行きます。</p> <p>空間認知...鬼ごっこやドッチボールのような空間に対してイメージする課題を促し、空間認知能力を伸ばしていきます。</p> <p>集団行動...3~5名の小集団から療育士の指示に耳を傾けられるように促して行きます。</p> <p>集団での一斉指示...一斉指示の際に指示を理解した状態で行動できるように集中力を伸ばします。</p> <p>他者意識...楽しかった経験、挑戦した課題を行いながら他者と共有する楽しさを感じていき、他者に対する意識をつけていきます。</p> <p>集中力の向上...簡単な課題から最初から最後まで課題通りに行える時間をのばしていき、集中力の向上を図ります。</p> <p>状況にあった行動...自身が何をすべきか、周りの視野を広げて状況理解と判断ができるよう関わって行きます。</p> <p>切り替え...様々な経験をして、受け入れられる状況を増やして行けるように促します。</p>
言語コミュニケーション	<p>双方向のコミュニケーション...療育士に対して質問したり、療育士の質問に対して、質問に合った内容を答えられるようにコミュニケーション能力を伸ばしていきます。</p> <p>コミュニケーションの幅を広げる...一つの課題に対しての広げ方を療育士や他児との関わりを通して幅を広げていきます。</p> <p>他者のアウトプット...他者の行動を「見てみて、すごいよ」等と感情を強く出しながら、他者に関心を持って自身からアウトプット出来るような機会を作っていきます。</p> <p>発語...療育士が擬音語や単語を繰り返し発し、意識して覚えたりして発語に繋がるような機会を作っていきます。</p> <p>言葉の理解...単語または文章をジェスチャーや身振り手振りしながら繰り返し伝えることで、言葉に対しての意識をさせていきます。</p> <p>気持ちや感情の言語化...療育士が表情や感情を強く出し、繰り返し伝えていくことで意識出来る機会を作っていきます。</p> <p>挨拶...療育の始まりと終わりで「よろしくお願ひします。」「ありがとうございました。」を伝える時間を設けます。</p>
人間関係社会性	<p>ソーシャルスキルトレーニング(SST)...他者との関わりで相手に寄り添ったコミュニケーションをとることを意識させていきます。</p> <p>クールダウン...休憩などの時間を設けて気持ちを落ち着かせて行動できるように促します。</p> <p>ルール遊び...指示に対して遵守することの喜びを療育の中で理解していけるように促して行きます。</p> <p>感情のコントロール...失敗に対して次またチャレンジ出来るような気持ちを課題の中で育んでいきます。</p> <p>自己肯定感の向上...成功体験を多く作って、少しずつ自己肯定感や自身に繋がるような環境を作ります。</p> <p>勝ち負けのこだわり...成功体験を多く作り、勝ち負けがある課題へ上手に向き合えるような環境を作っていきます。</p> <p>順番の理解...トレーニングや集団の際に他者の番を応援したり待たせていけるよう意識をつけていきます。</p> <p>人見知り・場所見知りの軽減...自身の強みや得意なこと、分野を意識させて他者との共感を楽しめるように促します。</p> <p>多面的な視点...一つの課題に対して様々な遊びがあることを療育士が見せていくことで多面的な視点を作ります。</p> <p>仲間づくり...他者の気持ちや遊びに寄り添っていけるよう意識を作ります。</p> <p>母子分離...興味の幅を広げながら楽しく遊べる時間を作り、母子分離ができるように促して行きます。</p>
家族支援	<p>個別支援計画の更新を6か月に1回毎に行っており、療育内容や課題の見直しを行っていきます。</p> <p>保護者が希望の場合、保育園・幼稚園と連携を取り園での様子を見に行ったり、情報共有をしたり等も関係機関支援加算(Ⅱ)として支援を行っております。また子育てに関する相談援助等も実際の療育風景を確認しながら家族支援加算のⅠ(3)として実施をさせていただいております。</p>
移行支援	<p>年度末までにアンケート調査を行ったり、移行相談を利用時に行っております。就学や就労に関しての相談も管理者・児童発達支援管理責任者が担当しております。</p>
地域支援・地域連携	<p>他事業所や保育園、幼稚園、相談支援事業所とも連携を図り、港区が開催される連絡会等にも参加しております。</p> <p>定期的な個別支援計画の更新に伴い、利用者の他スタジオや相談支援事業所に支援中の個別支援計画書を交付したり、お電話や会議等でモニタリングを行うなどの情報共有を行っています。</p>
主な行事等	<p>第5日曜日に当事業所でのイベントを、主に施設を利用している児童と保護者の方々に向けて企画させていただいております。企画毎に他事業や医療機関とも連携し外部での開催も行っています。</p>
職員の質の向上	<p>支援計画の書き方や療育内容の進め方を学んでいく座学研修や、実際に療育現場を想定して行うロールプレイ研修を定期的実施しています。さらに虐待防止研修、身体拘束研修、安全計画、業務継続計画、避難訓練、衛生管理研修、ハラスメント対策研修、スタッフとの個人面談を設けて質の向上を図ります。</p>

本人支援